

各種募集について

まちづくり 地域コミュニティ助成事業

町内会などの住民団体が実施する地域のまちづくり活動や町内会館等の施設整備、地域の史跡・遺跡・文化などの保存伝承事業に対し、当財団の規程に基づき事業費の一部を助成しています。制度の主な内容は次のとおりです。

**申込期限
4月30日**

- 市が行う「町内会集会所整備等補助事業」などと併せて申請する場合
 - 市の補助額を差し引いた残りの事業費が助成対象となります。
 - 助成率は、上越市の補助率と同率です。
 - 助成限度額は、40万円。ただし、ごみ集積施設に関する助成限度額は1施設につき10万円。
 - 上越市の補助対象事業であっても、緊急性などから上越市の補助を受けられず当財団の助成のみを受ける場合の助成対象事業費は30万円までとし、助成率は10分の8（80%）で、助成限度額は24万円です。
- 市の補助対象とならない事業の場合
助成率は10分の8（80%）、助成限度額は40万円です。
- 助成対象となった事業及び同一団体は、事業年度の翌年から2年間は助成対象外です。

※ 令和8年度から新たに「LED型防犯灯の劣化等に伴う修繕」を助成対象に追加しました。
※ 事業内容により助成率が異なります。詳しくはお問合せください。

奨学金 奨学金貸与事業

頸城区在住の中学校及び高等学校を卒業した生徒で経済的に困難な学生に対し、無利子で学資を支援します。

**申込期限
4月10日**

【出願資格】

- 本人または保護者が1年以上 頸城区に住所を有し引き続き居住している方
- 高等学校（中等教育学校高等課程を含む）、高等専門学校、特別支援学校(高等部に限る)、専修学校(高等課程・専門課程で就業年限が2年以上のものに限る)、大学及び大学院（但し修士課程2年に限る）に在学している方

【奨学区分と貸与額】

区 分	月 額	入学一時金
高等学校（中等教育学校高等課程含む）、高等専門学校（1～3年） 専修学校（高等課程）、特別支援学校（高等部に限る）	10,000円	50,000円
高等専門学校（4・5年・専攻科）、専修学校（専門課程） 短期大学	20,000円	200,000円
大学・大学院（修士課程）	30,000円	300,000円

問い合わせ・申込み先

(公財) ユートピアくびき振興財団

頸城区百間町636番地 頸城区総合事務所2階
TEL 025-530-2771 ホームページは
FAX 025-530-2820 こちらから▶



ユートピアくびき 振興財団会報

第65号
2026. 3. 25

令和8年度 事業及び予算の概要

近年、少子高齢化の進展に伴い社会全体の活力低下が懸念されており、地域においてはより深刻な状況にあります。こうした中、当財団がこれまで進めてきた事業に対する期待は一層高まっています。そんな地域の期待に応えていくため、現状を捉えた実効性のある取り組みを重点的に進めるとともに持続可能な運営に努めてまいります。

こうした視点のもと、令和8年度の主な事業は次のとおりとしました。

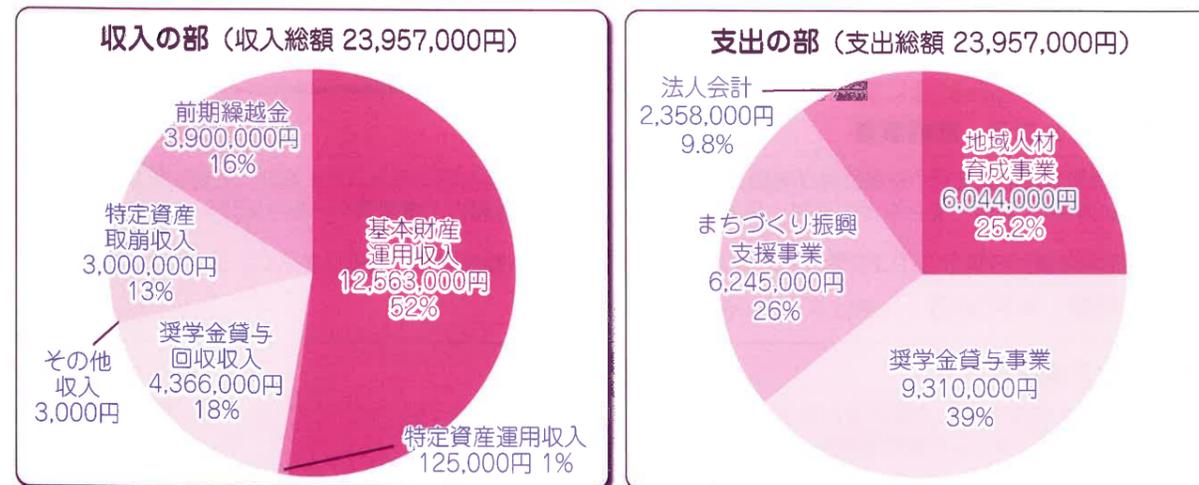
地域人材育成事業では、文化・芸術・演芸に関する事業を前年と同様に、文化講演会と映画観賞会に絞り企画を厳選することで、地域の皆さんに有意義な機会の提供を図ります。青少年の育成は、多感な成長期にある中学生に対するアプローチとして、青少年育成講座の開催を頸城中学校PTAに委託して実施する一方、区内の新小学一年生に対して、希望に応じて優良図書を配付することで子供たちの国語の読解力を高めようとする読書活動推進事業も引き続き実施します。また、成人講座として、日常生活に役立つ様々な知識を身につける企画に対して、事業を委託する試みを行います。

奨学金貸与事業は、新規奨学生5名を予定し、継続貸与者11名と合わせて16名に対する奨学金を無利子で貸与します。

まちづくり振興支援事業の地域コミュニティ助成事業では、各町内会でLED化を進めた防犯灯の劣化等に伴う修繕を助成対象に追加し、地域の要望にできる限り応えられるよう制度を整備しました。ふるさと講座事業では、ふるさと頸城の文化や歴史などに関する情報を保存するための事業を継続し、将来的な活用を目指した情報収集を行ってまいります。

予算については、事業別で地域人材育成事業は604万円、奨学金貸与事業は931万円、まちづくり振興支援事業は624万円、法人会計（管理費）は235万円を計上しました。

令和8年度 収支予算



令和8年度 事業計画

地域人材育成に関する事業

***映画鑑賞会** 6月26日(金) 入場券必要
2回上映〔昼の部 午後2時～ 夜の部 午後6時～〕
作品名：『大河への道』
出演：中井貴一、松山ケンイチ、北川景子、岸井ゆきの ほか

入場券配布開始
6月4日(木)
午前9時～
ユートピアくびき希望館



地域活性化のため郷土の偉人・伊能忠敬を主人公とする大河ドラマ誘致を目指し奮闘する現代と、伊能忠敬と弟子たちの日本地図完成に隠された隠密作戦を描いた時代劇。2つの視点で構成される笑いと感動の物語。立川志の輔による創作落語を原作とし、大河ドラマ「べらぼう」などを手がけた森下佳子が脚本を担当した。

***文化講演会** 9月26日(土) 午後2時30分～ 入場券必要

講師：**梶本修身** 氏 (東京疲労・睡眠クリニック院長、医師、医学博士)

応募方法など詳細は、後日配布するチラシをご覧ください



演題：「疲労医学が解明した『ぐっすり快眠』のテクニック」

睡眠の最大の目的は、前日までの疲労を回復させること。十分な時間眠っても疲れが取れないのは、睡眠の質が悪いから。睡眠の質を悪化させる原因とは。疲労医学が解明した疲労の正体と効果的な「Good Sleep (ぐっすり) 快眠」のテクニックをわかりやすく解説します。

*青少年育成講座

広い見識と知識を得る機会として、スポーツ選手や文化人などを講師に招き青少年の将来に向けて有益な講演会を開催します。

*読書活動推進事業 10月下旬 小学校を通じて申込案内を配布

本に親しみきっかけとしてもらうため、小学1年生の希望者を対象に優良図書の配付を行います。

*成人講座

日常生活に役立つ様々な知識を身に付ける機会を提供し、明るく豊かな日常生活を支援します。

地域振興を担う青少年への奨学金貸与に関する事業

*奨学金貸与事業

頸城区の住民であって中学校及び高等学校を卒業した生徒又は学生で経済的理由により就学困難な生徒に対し学資を貸与し、有為な人材を育成します。

申込期限 4月10日 詳細は4ページをご覧ください。

まちづくり振興支援に関する事業

*地域コミュニティ助成事業

町内会や公益活動を行う住民団体が実施する地域のまちづくり活動及びコミュニティ活動に必要な施設整備や地域の史跡、遺跡、文化などの保存・伝承事業に対して予算の範囲内で事業費の一部を助成します。

※令和8年度から新たに、「LED型防犯灯の劣化等に伴う修繕」を助成対象に追加しました。

申込期限 4月30日 詳細は4ページをご覧ください。

*ふるさと講座

ふるさと頸城の文化や歴史などを学ぶ機会を提供するため、伝承者や関係者等取材し、今、残せる情報をデジタルデータとして保存活用する取り組みを行います。

開催事業の様子

人材育成 青少年育成講座開催

横澤富士子講演会 「なりたい自分になるために ～今日から自分ができること～」



去る、11月5日(水) 青少年育成講座を開催し、頸城中学校全校生徒と保護者、221名が聴講しました。講師には上級教育カウンセラーや学校心理士の資格を持つスクールカウンセラーであり、人気芸人の横澤夏子さんの母である横澤富士子さんをお迎えしました。

講演では、相手の話を最後まで黙って聞く「3分間カウンセリング」を生徒同士で行ったり、感情のコントロールや夢の実現について、自らの経験や夏子さんとのエピソードも交えてお話しくださしました。

講演の感想を抜粋で紹介します。

私は人の話を聞くのが苦手です。理由は相手の悩みや困っていることを解消してあげないといけないと思ってしまい、余計なことを言ってしまうかもしれないと、深く考えすぎてしまうからです。でも、横澤さんのお話を聞いて、無理に話さずに、相手の話を最後まで優しさとおもいやりを持ちながら受け止めるだけでいいのだと分かりました。黙って聞くのは難しいけど頑張ってみようと思います。また、夏子さんの話や家族の話聞いて、自分の家族への思いを改めることができました。(中2)

講演を聞いて「相手の話を静かに聴くと相手は落ち着く」ということに気付きました。相手が焦っているときに「ゆっくりでいいよ」と声をかけることが大切なのかな、と思いました。また、話を聞くと共に共感したり相づちを打ったり、最後まで集中して聞くことが大切だと気付きました。他にも「脳は3階建てでできている」という話が印象に残りました。私は「2階」の「本物の気持ち」とは何なのかゆっくり考えてみようと思います。多分、人それぞれ違うと思うので、友人などと意見を交換するのもおもしろそうだと思います。なりたい自分に向かって少しずつ努力していこうと思いました。(中3)

親や誰かに反抗するのは、あまり良くないことだと思っていたけど、そうやって甘えることで心が成長し、自立に向かっていくんだと分かりました。3分間カウンセリングをしてみて、自分が話すときに相手が静かに聞いてくれるのがうれしかったです。また「わくわく」や「どきどき」などの感情が脳の力を伸ばすことが分かりました。「夢はあきらめなければ叶う」とおっしゃっていたので、私も自分の今できることをあきらめずに頑張ろうと思いました。(中3)



子育ては難しく、毎日大変に思っています。言ってもすぐにやってくれない。待てずにまた言ってしまう、言い合いになってしまうことが多いです。私は感情的になってしまう方なので悩んでいました。講演をお聞きし「信じる・任せる・待つ」ことが大事だと思いました。言語的コミュニケーションだけではなく非言語的コミュニケーションの必要性を感じました。3分間カウンセリングをした際には、相手が話をしている間、聞きたいことがあり、途中で話したくなり、聞くことの難しさも知りました。(保護者)